



# 出水市立 大川内中学校

生徒数 23 人  
学級数 3 クラス



## 《テーマ》自己肯定感を涵養する人権同和教育の推進

～他者への理解や思いやりを大切にし、仲間づくりができる生徒の育成を目指して～

研究に当たって（テーマ設定の理由）	研究の実際
<p>小中一貫の特認校で、少人数の限られた人員で構成される学校環境において、他者への思いやりや仲間づくりができる生徒を育成することを通して、生徒の自尊感情や自己肯定感を高め、人権同和教育について、より幅広く正しい知識を身に付けることができると考え、本テーマを設定した。</p>	<p>4月5日 職員研修（研究推進計画確認） 4月18日 いじめ問題を考える週間の取組 4月21日 生徒総会（いじめに関する劇発表） 6月1日 「命の授業」（講師招聘：市保健センター） 6月20日 ハンセン病問題を考える授業（講師招聘：県指導主事） 7月13日 SOS の出し方教育（スクールカウンセラー） 7月21日 職員研修（講師招聘：県指導主事） 9月4日 いじめ問題を考える週間の取組 11月17日 親子人権教室（講師招聘：県指導主事）</p>

### 特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

#### □ いじめ問題を考える週間（年3回）

4月の生徒総会で、生徒会執行部と3年生が、いじめに関する劇を行い、生徒自らがいじめをなくそうというメッセージを伝えることができた。また、各学年「公正公平」（4月）「自由と責任」（9月）をテーマに、道徳の授業を行った。さらに、毎月行っている「学校生活アンケート」に加え、「学校楽しいと」を実施して生徒の実態把握に努めた。



【生徒総会】

#### □ ハンセン病問題を考える授業（生徒対象、県からの講師招聘）

ハンセン病問題について理解を深めた。また、アクティビティを通して、決めつけや思い込みは誰にでも起こり得ることであり、その決めつけや思い込みが偏見や差別につながるということ、体験を通して学ぶことができた。



【ハンセン病問題を考える授業】

#### □ 職員研修（職員対象、県からの講師招聘）

「学校における人権教育」や「主な人権課題」について理解を深めた。また、「性的指向・性自認に関わる問題」について配慮すべき事項についても学ぶことができた。



【職員研修】

#### □ 親子人権教室（生徒・保護者対象、県からの講師招聘）

インターネットに起因する様々な人権問題について理解を深めた。身近に起こりうる人権問題について動画を視聴し、「どのようなところが問題なのか」「トラブルの原因は何か」「どうすれば良かったのか」について考える活動を通して、生徒自身が自分事として人権問題に向き合う姿が見られた。

### 子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 「ハンセン病問題」「インターネットに関わる人権問題」などの様々な人権課題についての正しい理解を深めることができた。また、生徒の感想には、これらの人権課題だけにとどまらず、日常生活の中でも、「共感」や「互いの考えをしっかりと伝え合うこと」を大切にしていきたいという記述が見られた。
- 毎日の生活の様々な場面で、今回の講話の内容を振り返ったり、自分自身のことと関連付けたりすることができるよう、継続的な指導が必要である。